

“リリカは効くか??”

Efficacy, Safty, and Tolerability of Pregabalin Treatment for Painful Diabetic Peripheral Neuropathy

【背景】糖尿病三大合併症で、もっとも“やっかい”と考えられるのは、腎症や網膜症ではなく、実は有痛性の糖尿病神経障害ではないかと思われます。そのやっかひさの最大の原因は、すつきり効く薬がないことだと考えられますが、末梢神経障害性疼痛の薬剤として日本でも発売された Pregabalin(リリカ)の効果について、7つのランダム化試験結果のメタ解析が行われましました。

【方法】1510 名の有痛性糖尿病神経障害患者に対し、1 日 2-3 回のリリカ、150mg(n=176)、300mg(n=266)、600mg(n=511)およびプラセボ(n=557)が割り付けられ、痛みスコア、痛みによる不眠スコア、有害事象が検証されましました。

【結果】痛みに対するスコアでは、リリカの投与 1 週間後から用量依存的に痛みの減少を認め、最終的には、150mg で-2 点、300mg で-2.44 点、600mg で-2.75 点の改善を認めましました。50%以上の痛みの改善を自覚した患者頻度は、300mg 以上で 39%と有意に増加、600mg だと 47%でした。30%以上の改善では、300mg 以上では、1 週間で、150mg においても、2 週間前後で半数が改善を認めましました。有害事象は、ふらつき、眠気、末梢浮腫が、300-600mg で高頻度に認められましました。

【結論】やっかいな有痛性糖尿病神経障害の治療薬に、今度こそ効きそうな選択肢が追加されましました。今後の普及は有害事象との兼ね合いということになりそうです。徳田先生からは、車の運転の方には服用させないようにと、まるでフ○ザーの MR さんのようなコメントを頂きましました。。

(文責 阿比留)